

令和5年産 玄米の残留農薬・重金属(カドミウム)検査の分析結果

1. 分析依頼先 公益財団法人 山口県予防保健協会 食品環境検査センター

2. 分析日 令和5年12月13日～令和5年12月20日

3. 分析方法・検体数・検出限界

項目	試料	検体数	項目数	分析方法	定量下限値(ppm)
残留農薬	玄米	22	121	GC-MS ¹⁾ HPLC-MS ²⁾	0.01
重金属	玄米	22	1(カドミウム)	ICP-AES ³⁾	0.01

¹⁾: GC-MSとは Gas Chromatography(ガスクロマトグラフ分析法)ーMass Spectrometry(質量分析法)の略です。

²⁾: HPLC-MS とは High Performance Liquid Chromatography (高速液体クロマトグラフ分析法)ーMass Spectrometry(質量分析法)の略です。

³⁾ICP-AES とは Inductively Coupled Plasma Spectrometry(誘導結合プラズマ分析法)ーAtomic Emission Spectroscopy(発光分析法)の略です。

4. 検査結果

(1) 残留農薬検査

検査を実施した玄米22検体の残留農薬(121項目)は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。

(2) 重金属(カドミウム)検査

検査を実施した玄米22検体は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。

5. 判定

問題はないと考えられます。